

## 裾野麗峰山の会山行報告書

文・写真 加藤

山行番 まったりハイキング  
日 時 2019. 01. 16 (水) 晴れ  
山 域 天子山塊・貫ヶ岳 (897m)  
コース 富士市役所7:00-登山口8:45-平治の段分岐-頂上11:40~12:40-  
林道-登山口13:45  
標高差 上り=登山口約280m~貫ヶ岳897m=約617m  
下り=                    "  
参加者 L加藤秀子、鈴木新平、綾子、峰田光江、星 千代、合谷守明、一般3人=9名

三島・長泉隊5名と富士隊4名が富士市役所7:00に合流し予定通り出発。

芝川を抜け52号線から直ぐに中沢町に向かう川沿いの脇道に入る。

バス停を通り過ぎ少し道迷いをしたが、中沢公民館の前にある駐車場に8:00無事到着。

公民館前のアスファルトは凍っていた。トイレは登山者の為に、外付けになっており、これが手入れが行き届きとてもきれいで清潔だった。

ただ残念ながらまだウオシュレットではない。トイレの前には、「ヒル、まむし注意」の看板があり、夏場は恐い山である。此処から見上げる貫ヶ岳は低山特有にせり上がって見えた。

西尾さんに、「今日登る山はあれだよ」と教えたら「エーッ！これを登るのお〜！嘘でしょう？」

西尾さんに、「今日登る山はあれだよ」と教えたら「エーッ！これを登るのお〜！嘘でしょう？」と喜びの一声。「そだねえ」と登山開始。



## 参加者の面々

アスファルトは凍っていたが、林道に雪がなく、又今日は温かくハイキング日和だ。羽織りものを1枚脱ぎ、2枚脱ぎ調整する。林道から「ヒル・まむし注意」の看板が右側にあり山肌に沿っていきなりの急登に入る。植林の中につけられた登山道は、枝が邪魔をして歩きづらいが、今回自分の意思で参加した新ちゃんはなかなかペースがいい。

1回の休憩をとり稜線手前のきつい急登に喘ぐ。左手にいくと、平治の段、頂上は右手のアップダウンを2回繰り返す。分岐に頂上まで15分とあったが、これがなかなか手強い登り下りだった。「まあ〜だ〜？」の悲鳴が聞こえる。「もう直ぐで着きます」と私。「加藤さんのもう直ぐは当てにならないから〜！」とみんなのブーイング。それから2〜3分で頂上着。「ほら〜。嘘言っていないじゃん」と一件落ち着いた。



頂上まであと少し



陽だまりで美味しい昼食

陽ざしがある場所を選んで、お鍋を囲むように輪になって座り、お汁粉の段取りをしながら恒例のランチ会が始まった。合谷さんの男の料理、今日はヤーコンの煮付けを持参。

こんな食べ方も美味しいね～と女性陣から大絶賛。白菜や大根の漬物、各人が其々に持参したものが順繰りにまわり食べるのに忙しい。

10人分のお汁粉用のお餅を背負ってきた新ちゃんに「重かったねえ。有難う」の感謝の言葉が出る。すかさず妻である綾ちゃんの「別に重たくないさあ」の冷ややかな一言には皆で大笑いしてしまった。常に笑いが出る「まったり山行」に「いいね」のスタンプを押したい。

展望も何もない狭い頂上だったが、差し込む陽射しはポカポカと温かく、皆の会話も弾み、至極のひとときが過ぎた。満腹したお腹は苦しい。あとで「少しにしておけば良かった」と後悔すること毎度だ。ヨッコラショと重い腰を持ち上げた。



イイ山でした

下山は急な斜面に登り以上に神経を配り、つつがなく13:40駐車場着駐車場着。  
芝川苑でひと風呂浴び帰路についた。897mの低山だが急登の山だった。  
しかし冬枯れの静かな雰囲気を楽しめハイキングには時間的にも丁度いい。

了